

# 多摩支部会報

## 秋季リーグ優勝特別号

平成28年10月28日 発行

明治大学校友会  
東京都多摩支部

支部長 西山 強

広報委 飯田光宏



3年ぶり5度目の連覇ー39回目の優勝



明大広報



3年ぶり5度目の春秋連覇だ！ 立大を6-2で下し勝ち点4とした明大は、勝率で1位となり39度目の戴冠を飾った。2回、萩原英之外野手(営4=九州学院)の本塁打で2点を先制。6回には4安打と失策が絡み追加点を挙げた。先発の星知弥投手(政経4=宇都宮工)が8回途中までを3安打2失点の好投。最後は2番手の齊藤大将投手(政経3=桐蔭学園)が無失点で切り抜け、悲願を達成した。明大は11月11日に開幕する明治神宮大会に出場し、5年ぶりの日本一を狙う。

空高く舞い上がった白球を見上げ、勝利を確信した。9回2死一、二塁。竹村春樹内野手(政経3=浦和学院)が笠松(立大)の飛球をがっちりグラブに収めると、神宮球場が大歓声に沸いた。選手たちは喜びに浸りながら、紫紺に染まったスタンドに向かって何度も拳を突き上げた。3年ぶり5度目の春秋連覇。粘り勝った春に続いて、再び栄冠を手に入れた。(明大スポーツより転載)

**紫紺ネット会員募集中**

紫紺NETホームページアドレス:

<https://sns.meiji-shikon.net/>



## 東京六大学野球秋リーグ 10月23日対立教大学 観戦報告

多摩支部企画事業委員会 江面利和(日野)

春秋連覇を目指す明治大学硬式野球部は22日の立教戦に勝利し、優勝に王手となりました。翌23日、優勝の瞬間に立ち会おうと、神宮球場に出かけました。前日の柳投手の好投に続き、今日の星投手も素晴らしいピッチングを見せてくれました。立教大学に連勝し、2季連続39度目の優勝を決めた瞬間にはスタンドの明治ファン総立ちで紫のテープが高く舞い、喜びの時間を味わうことができました。試合の方は、序盤、2回2死一塁で、7番・萩原選手がリーグ戦初本塁打となる先制の右越えホームランで2点を先制し、その後も効果的に追加点を上げ6対2で勝利。試合後のインタビューで中日ドラゴンズ1位指名の柳主将は「このチームでリーグ戦を戦えるのもこの秋が最後。リーグ優勝できたことがとても嬉しい」と喜びを語り、「明治大学を日本一にして、次のステージに進みたい。春は1回戦負けで終わってしまったので、この秋は何としても日本一を取りたい」と明治神宮野球大会に向けての意気込みを語りました。

(写真:江面提供)







中道 捕手

星 投手

柳 投手

佐野 選手



**編集後書** 予選会では11秒差の2位で箱根駅伝のキップを掌中にし、「よしゃあ！」と思っていたら、17日(月)早稲田戦を落とし3校が勝ち点で並んだときはどうなるのかとハラハラドキドキ！！

今度こそ明治神宮野球大会で日本一になるよう多摩支部一丸となって応援しよう。  
次は、ラグビーだ！11月6日慶応、11月20日帝京、12月4日早稲田、対早稲田戦では企画事業委員会が大応援団を結成し、81名の校友が秩父宮ラグビー場に集結します（応援募集は締切ました）。

写真・記事等提供 江面利和氏・明大広報・明大スポーツ 多摩支部広報委員会